



学校通信

令和5年11月1日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第8号)

運動会を終えて

校長 岩下 桂郎

下記のとおり、たくさんの保護者の方々に参観いただきながら、運動会を実施することができました。4年ぶりの運動会ということで、入学してはじめての運動会という児童もいたのではないのでしょうか。演技を終えた子供たちの誇らしげな顔がとても印象的でしたし、全校行事としての一体感の良い経験になったと思います。応援ありがとうございました。

さて、先日参加した研修会で、「新たな教育振興基本計画」について学ぶ機会がありました。この基本計画では、コンセプトとして「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」が提唱されているということでした。「ウェルビーイング」はあまり聞き慣れない言葉ですし、「身体的、精神的、社会的に良い状態にあること言い、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含む概念」という説明には、さらに「？」が増えるばかりでした。「教育に関連する要素として「自己肯定感」「心身の健康」「多様性の理解」などが含まれます」という説明があつて、やっとなし「！」と感じましたが、これからの教育のキーワードなので知っていただけたらと思います。

社会の変化に伴い、学校で扱う内容も変化してきました。最近ではSDGs（持続可能な開発目標）に関連する考え方が大きく影響しています。障害、男女、様々なギャップを超えて「多様性を理解し、お互いを認め合あう態度を育成しよう」という考えもその一つです。こうした教育を受けた子供たちが創る社会は、きっと誰もが生きやすい社会になっていると思います。

運動会で見せた一人一人の頑張りは、見ている者の心を打ちました。本校の子供たちは支援を必要とする者ではありますが、社会に多様性をもたらす力を備えています。持続可能な社会の構築に貢献できるよう、子供たちの「ウェルビーイング」を高める指導を進めていきます。

「令和5年度 運動会」

10月14日（土）、たくさんの保護者の皆様に見守られながら運動会が行われました。

今年の運動会は、暑さ対策から、後半は体育館に場所を移して行いましたが、子ども達は、どの競技も精一杯頑張り、自分の出せる力を十分に発揮していました。また、開・閉会式では、中学部の生徒が中心となって司会進行やラジオ体操を進めている様子も見られました。運動会スローガン「輝け！団結！チャレンジ！かつもう2023」の通り、皆で協力することの大切さや、最後まで諦めずにやり抜く力を身に付けることができました。

子ども達への温かい応援や拍手をいただき、ありがとうございました。

(運動会担当 石毛)

